

チェックリスト

備蓄品

- 療法食、薬
- 5日以上のフードと水
- 予備の首輪、リード
- 食器
- ガムテープ（ケージの補修等多用途）
- ケージやキャリーバッグ
- ペットシーツ（トイレ用品）
- タオル
- ブラシ
- おもちゃ
-

確認事項

- 住まいの防災対策
- 家族・地域・ペット仲間との話し合い
- ペットの一時預かり先
- 迷子の備え
- しつけ・健康管理
-

「ローリングストック法」をご存じですか？
日頃から少し多めに買い置きし、先に購入した
ものから使っていきます。いつでも手元には
5日以上の物品があるように心がけましょう。

奈良市保健所 ☎0742-93-8395
郡山保健所 ☎0743-51-0193
中和保健所 ☎0744-48-3033
吉野保健所 ☎0747-64-8131
内吉野保健所 ☎0747-22-3051
動物愛護センター ☎0745-83-2631

あなたのペットは大丈夫？

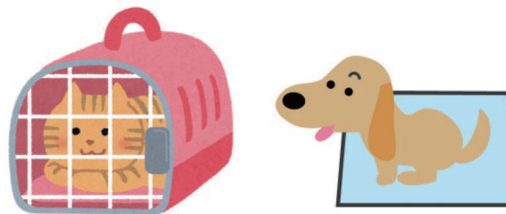
迷子対策は万全ですか？



買い置きはありますか？




お泊まりはできますか？




はじめよう ペットの災害対策

いざという時も、安全に避難できるように
備えましょう！



 **所有者の明示**
迷子対策は万全ですか？

 **備え**
備蓄は十分ですか？
耐震補強・避難経路は確認済みですか？

 **しつけ**
ケージやキャリーバッグに入れますか？

 **奈良県** ・  **奈良市**
公益社団法人 奈良県獣医師会

日頃から備えましょう

所有者の明示

突然の災害ではペットと離ればなれになるかもしれません。すぐに再会できるように普段から身元を示すものを身につけさせましょう。

外から見てわかる鑑札や名札の他に、半永久的に識別可能なマイクロチップも入れるといった二重の対策をとりましょう。

「外から見てわかるもの」

鑑札・注射済票（犬の場合）、迷子札（連絡先を書いたもの）、足環（鳥の場合）等

※首輪も足環も、緩んでいないか・きつくないか、時々確認しましょう。

「体に施すもの」

マイクロチップ



ペットのための備蓄品の用意

ライフラインの寸断、緊急避難などに備え、必要な物資の備蓄をしましょう。災害時、人に対する準備はされていますが、個々のペットにあった備えは飼い主の責任になります。救援物資が届くにしても時間がかかります。少なくとも5日分は用意しておきましょう。

備蓄品には優先順位をつけ、持ち出し品はリュックなどに入れ、その他のものはわかりやすいところにまとめておきましょう。

住まいの防災対策

災害時にペットを守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。住まいを災害に強くしておけば、一緒に住んでいるペットの安全にもつながります。



事後の取り決め

災害が起こったときにどうするか、様々な場面を想定し、家族や地域で話し合っておきましょう。どう守り、どう避難するか、飼い主が留守中の被災も含めてよく考えておきましょう。



探しています



ここに写真を貼ってください

見つけた方はご連絡ください

ペットの名前 オス・メス

ペットの特徴

飼い主の名前

連絡先 1

連絡先 2

かかりつけ獣医

マイクロチップ番号

鑑札番号ほか

しつけと健康管理

突然の災害は人にも動物にも大きなストレスがかかります。さらに慣れない場所で見知らぬ人や動物と暮らすことになれば、体調も崩しがちです。普段から健康状態に注意し、また周りの人とも上手に接していけるよう、しつけを十分に行いましょう。

「普段から心がけたい『しつけ』」

• ケージやキャリーバッグの中でくつろげる。 • 人や他の動物を怖がったり攻撃的になったりしない。 • 決められた場所で排泄する。 • 「おいで」のかけ声で飼い主の元に来ることができる。

「済ませておきたい『健康管理』」

• 各種ワクチンの接種。 • 寄生虫の予防、駆除。
※療法食や常備薬があればこれも備蓄に加えておきましょう。

